



●乳幼児健康診査・健康相談

【受付時間】 ☆印…午前9時30分～10時20分、★印…午後1時～1時50分

※対象者には通知します。

内容	対象となる人（お住まいの地域）	日程	会場
★3～4か月児健康診査	平成23年5月生まれ（本庄地域）	9月28日(水)	本庄市保健センター
	平成23年4月～5月生まれ（児玉地域）	9月15日(水)	児玉保健センター
☆9～10か月児健康相談	平成22年11月生まれ（市内全域）	9月28日(水)	本庄市保健センター
★1歳6か月児健康診査	平成22年2月生まれ（本庄地域）	9月26日(月)	本庄市保健センター
	平成22年1月～2月生まれ（児玉地域）	9月14日(水)	児玉保健センター
☆2歳児健康相談	平成21年8月生まれ（市内全域）	9月27日(火)	本庄市保健センター
★3歳児健康診査	平成20年8月生まれ（本庄地域）	9月27日(火)	本庄市保健センター
	平成20年7月～8月生まれ（児玉地域）	9月13日(火)	児玉保健センター

●育児相談・学級

【会場】本庄市保健センター

※電話による育児相談は随時受け付けています。各相談・教室の予約は、本庄市保健センター(☎2003)へ。

内容	対象となる人	日時	その他	
すくすく相談 (育児・栄養相談、計測)	相談・計測希望の人 会場：児玉保健センター	9月15日(水) 午前9時30分～11時	定員あり。事前に電話予約してください。	
母乳相談	母乳のことで相談がある人	10月21日(金) 午前9時30分～11時	定員あり。事前に電話予約してください。	
おや親タマゴ	マタニティ エクササイズ	これからママになる人	9月21日(水) 午前10時～正午	先着20人。事前に電話予約してください。
	母乳・沐浴	これからママ・パパになる人	9月3日(土)・11月19日(土) 午前9時30分～正午	先着20組。事前に電話予約してください。
	栄養	これからママになる人	9月29日(水) 午前9時30分～正午	先着12人。事前に電話予約してください。

◆コアクラスのお知らせ

【会場】本庄市保健センター

内容	対象となる人	日時	申込
子どもの心やことばの育ちについて	1～1歳4か月 児とその保護者	10月4日(火) 午前10時～11時30分	各回先着15組。1回ごとの参加もできます。 9月20日(火)～10月3日(月)までに本庄市保健センターへ予約してください。
親子ふれあい体操		10月12日(水) 午前10時～11時30分	
子どものからだの発達について		10月20日(木) 午前10時～11時30分	
子どもの成長に欠かせない食事		10月27日(木) 午前10時～午後0時30分	

開催
健康づくり講座『お口の再点検』を
開催
虫歯や歯周病を予防する歯や入れ歯のお手入れ方法や、かむ力を保つ口の体操を学びましょう。
日時 10月6日(木) 午前10時～11時30分
会場 本庄市保健センター
内容 歯科衛生士による講話と実技
対象 おおむね30歳以上の市内在住者
定員 25人（先着順）
用意 普段使用している歯ブラシ、鏡、筆記用具
申込 9月20日(火)から電話又は直接本庄市保健センターへ

『ポリオ（小児マヒ）予防接種』を実施します
対象児には「予診票」を郵送します。指定日に会場へお越しください。
対象年齢（生後90月未満）を過ぎても2回投与していない人は、本庄市保健センターへご連絡ください。
○本庄市保健センター会場
日程 10月6日(木)、7日(金)、11日(火)～14日(金)
○児玉保健センター会場
日程 10月3日(月)～5日(水)
《両会場共通》
対象 平成22年6月～平成23年5月生まれの人
受付 午後1時～1時50分

医療メト

本庄市児玉郡医師会広報部

加齢黄斑変性症

はじめに

加齢黄斑変性症は、文字どおり高齢者に発症する目の病気です。高齢化社会に伴い、近年この病気の患者さんは増加傾向にあり、50歳以上の約100人に1人がこの病気にかかっているといわれています。

現在、日本人の失明原因の第4位であり、以前は治療方法もありませんでした。しかし、近年いくつかの新しい治療法が開発され、病気の進行をある程度抑えることができるようになってきています。進行してしまくと治療が難しいため、早く見つけて必要があれば治療することが大切な病気です。

どんな病気？

眼球の最も奥にある網膜には、ものを見るのに大事な神経細胞がたくさんあります。その網膜の中心部分には、最も大事な部分「黄斑部」があります。加齢黄斑変性症は、この黄斑部に異常な血管「新生血管」ができ、病気の経過とともにその血管からの出血により、大幅に視力低下をきたします。進行には個人差があ

りますが、場合によっては失明に至る病気です。喫煙歴のある人は、この病気になりやすいといわれています。

どんな症状？

新聞や本を読んでいて字が見えにくい、特に見ようとしている部分が見えづらく、しかしその周りが見えるというのが症状の特徴です。ごく早期には、ゆがみなどの症状のものもあります。ものを見るとときには両目で見ているので、片目だけの発症では発見が遅れることがあります。

時々、片目を隠して前述の症状があるかどうかチェックすることが大事です。気になる症状があれば、まずはお近くの眼科受診をお勧めします。

どんな検査をしますか？

視力検査、眼圧検査など眼科の基本検査をした後、眼底検査を行い、黄斑部を詳しく観察します。必要があれば、OCTと呼ばれる網膜断層撮影や、血管造影検査を行い、より詳しく病気の状態を把握します。

どんな治療法がありますか？

1番目は、近年開発され、加齢黄斑変性症の第一選択治療になりつつある「抗VEGF治療」です。新生血管を消退させる働きを持つ薬を目の中に直接注射します。それ程痛み

を伴う治療ではなく、基本的には日帰りで行うことができます。しかし、薬の効果が無くなると再発することがあり、その場合には、繰り返し注射が必要になります。

2番目は、レーザー治療「光線力学療法」です。基本的には入院して、レーザーに感受性を強くさせる薬を注射しながらレーザー治療を行います。痛みは伴いませんが、治療後数日は日光などの光に当たらないようにしなければいけません。日本人では、この治療の効果が加齢黄斑変性症が多いとされていますので、場合によってはまずこの治療を選択することもあります。

3番目は、ルテインと呼ばれるサプリメントです。これにより病気が治ることはありませんが、進行の予防効果があると言われています。前述の2つの治療の補助的なものです。これらの治療は、今のところ完全に病気を良くするわけではありません。大切なのは早期に病気を発見し、これらの治療で進行を予防することです。

まとめ

加齢黄斑変性症は、高齢化社会に伴い増加傾向にある病気です。早期発見、早期治療がとても大切です。日ごろのセルフチェックが大切です。気になる目の症状があれば、早めに眼科を受診しましょう。

胃ペプシノゲン検診・PSA（前立腺）検診を受けましょう

平成22年度から、胃がんのなりやすさを測定する胃ペプシノゲン検診と前立腺がんや前立腺の病気の可能性を測定するPSA（前立腺）検診を実施しています。

検診を希望する人で受診券が手元がない人は、本庄市保健センターへご連絡ください。

①胃ペプシノゲン検診

対象 40歳以上（昭和47年4月1日以前に生まれた人）の市内在住者
費用 350円

②PSA（前立腺）検診

対象 40歳以上（昭和47年4月1日以前に生まれた人）で市内在住者の男性
費用 250円

①②共通

期間 平成24年3月31日(土)まで

場所 本庄市指定医療機関

検査方法 血液検査

用意 受診券、健康保険証

※生活保護世帯、市民税非課税世帯、70歳以上の人は無料になります。受診する前に必ず保健センターへお問い合わせください。

